

生涯学習・研修支援部会報告

著者	深澤 佳代子, 山田 正実
雑誌名	看護研究交流センター年報
巻	20
ページ	16-18
発行年	2009-09
URL	http://hdl.handle.net/10631/1269

生涯学習・研修支援部会報告

深澤佳代子, 山田正実

新潟県立看護大学看護研究交流センター 生涯学習・研修支援部会

I. 平成 20 年度公開講座のテーマ・日時・受講者数

	講座名	開催日	受講数
一般公開講座	特別講演Ⅰ 「看護師の臨床の『知』と、看護師が経験を積むことの意味」 講師：佐藤 紀子	9月20日(土)	133名
	特別講演Ⅱ 「感染制御に関する新しい動き」 講師：大久保 憲	10月4日(土)	164名
専門公開講座	専門公開講座Ⅰ 医療安全セミナー 講師：稲葉 一人	8月6日(水)	72名
	専門公開講座Ⅱ 看護情報処理セミナー第1回 看護情報処理セミナー第2回 講師：橋本明浩, 永吉雅人	9月25日(木), 9月26日(金) 10月2日(木), 10月3日(金)	11名 11名
	専門公開講座Ⅲ 専門職への公開授業(新潟県立看護大学どこでもカレッジプロジェクト)		
	① 看護と栄養管理 講師：梶井 文子	8月30日(土)	22名
	② 看護と口腔ケア 講師：柿木 保明	11月29日(土)	88名
③ 高齢者の口腔ケア(演習) 講師：原 等子	11月30日(土)	20名	
受講者数総計			521名

II. 講座の概要

1. 一般公開講座

1)特別講演Ⅰ 「看護師の臨床の『知』と、看護師が経験を積むことの意味」

日時：9月20日(土) 13:30～15:30

講師：東京女子医科大学看護学部教授 佐藤 紀子氏

概要：看護師の臨床における『知』とは、看護師が患者を迎い入れ、そこで発揮する知識を指す。また、その『知』は臨床経験を積みれば誰でもが身につくものではなく、知識を獲得する過程で身を持って看護を実践し、患者にコミットすることを通して獲得していくものである。御自身の20年以上に渡る看護の経験や『知』を積み



上げてきた看護師の実際の看護の経験を紹介され、臨床の知とは何かを伝えられた。その上で、今後看護職 1 人 1 人が自分のキャリアを育てていくにはどのようにしたらいいのか、というところまで言及された。看護師が経験を積む意味は一体何なのかヒントを与えられる講演であった。

(運営担当：深澤，山田)

2)特別講演Ⅱ「感染制御に関する新しい動き」

日時：10月4日(土)13:30～15:30

講師：東京医療保健大学大学院教授 大久保 憲氏

概要：平成19年度第5次改正医療法では、医療施設における院内感染対策が義務づけられた。診療報酬上の評価を含めた感染制御に関する行政の動きについて紹介された。また、結核の再興、黄色ブドウ球菌、ノロウイルスなどの感染症対策、器材を介する感染症とその予防について話された。また、医療従事者として普段から使用しているマスクなどの自己予防器材の正しい使用上のポイントについて分かりやすく講義していただいた。さらに、新型インフルエンザの動向と対策について厚労省の最新の情報を提供された。



(運営担当：深澤，山田)

2.専門公開講座

1) 専門公開講座Ⅰ 医療安全セミナー

日時：8月6日(水)10:00～16:30

講師：中京大学法科大学院教授 稲葉 一人氏

概要：現代の医療現場では医療安全の知識は患者の安全を守るだけでなく、看護職として自分自身の身の安全を確保する上でも必須事項である。中でも患者の個人情報の保護や守秘義務、インフォームド・コンセントなど一般化してしまっている言葉がどういうことを意味しているのか、どんなことに注意点を払えばいいのかなど事例を交えながら講義をしていただいた。また、保健師助産師看護師法の解釈や医療事故を巡る調停等新しい試みについても紹介していただいた。



(運営担当：深澤，山田)

2) 専門公開講座Ⅱ 看護情報処理セミナー

日時：第1回 9月25日(木)，9月26日(金)10:00～16:10

第2回 10月2日(木)，10月3日(金) 10:00～16:10

講師：新潟県立看護大学准教授 橋本明浩氏

新潟県立看護大学助教 永吉雅人氏

概要：初級から中級者を対象として、日常生活の中で利用する看護情報をより効果的に処理することを目的に習熟の程度に応じたプログラムを計画した研修である。Windows および Excel の基本操作，表計算，基本的統計処理とデータの読み方，プレゼンテーションの仕方まで講義および演習を通して 2 日間でマスターできるような内容であった。

(運営担当：橋本，永吉)

3) 専門公開講座Ⅲ 専門職への公開授業（新潟県立看護大学どこでもカレッジプロジェクト）

(1)看護と栄養管理

日時：8月30日(土)13:30～15:30

講師：聖路加看護大学准教授 梶井 文子氏

概要：栄養に関する問題は看護職が専門性を発揮できる分野のうちでも重要な位置を占める。栄養管理の考え方は大きく変わってきている。栄養管理の最新の情報を踏まえた看護についてお話しいただいた。

(2)看護と口腔ケア

日時：11月29日(土)13:30～15:30

講師：九州歯科大学教授 柿木 保明氏

概要：口腔ケアは誤嚥性肺炎の予防や摂食・嚥下訓練の一環として様々なメリットがある。「食」に関連した有効な口腔ケアの方法を始めとして最新の口腔ケアのシステムについてお話しいただいた。

(3)高齢者の口腔ケア（演習）

日時：11月30日(日)13:30～15:30

講師：新潟県立看護大学准教授 原 等子氏

概要：高齢者に対しての口腔ケアのポイントについて誰でもが簡単に且つ安全にできる方法について演習を交えて講義していただいた。

(運営担当：吉山，堀，原，深澤，栗生田，橋本，飯田，水澤，岡村)

Ⅲ. まとめ

本学看護研究交流センターの生涯学習・研修支援事業を開講し、7年が経過しました。この7年間に様々な講座を企画してきましたが、今後、生涯学習・研修支援事業はどのような方向を目指したらいいのかそろそろリニューアルを検討しなくてはならない時期にさしかかってきました。そういう訳で例年に比べると今年度は中身をかなりスリムにしましたが、同時に残念ながら出席者数もかなり減少してしまいました。今まで市民の方々や看護専門職の方々が手塩にかけて育てて下さった本学看護研究交流センターの生涯学習・研修支援事業は市民や看護専門職の方々が自由に学ぶための講座でありますので、今後もこの事業の企画・運営について忌憚のない御意見をいただきながら皆様に愛される事業として企画・運営に頑張りたいと考えています。どうぞ温かな御支援を宜しくお願い致します。